

スタート助成金

2 沼崎かるた会

サロン運営団体名称 沼崎かるた会

サロン開設年月	平成29年6月
開催日及び開催頻度	月1~2回(日曜日) 16時00分~17時00分
開催拠点	豊里の社 さくら集会所
代表者氏名	正根寺 雅子
1回の参加人数	平均20人
1回の運営スタッフ数	平均5人
参加費 (1人1回あたり)	100円

つくば市



目的(趣旨)

- 主につくば市内を中心に年齢や参加条件を問わず広く参加者を募集し、百人一首を通して日本の文化に触れ、地域の方々の交流の機会となることを目指しています。



生活課題への対応

- これまでつくば市内において子どもが参加できる百人一首のサロンがありませんでした。子どもたちから「だれかと百人一首の対戦をしたいけれど機会がない」という声が多く上がり、サロンを開設することとなりました。
- 助成を受け、当サロンをつくば市および県南地区などに広く広報することで「百人一首を学ぶ機会がない」と悩んでいた子どもたち、地域の方々が参加できるようになります。参加者は互いに切磋琢磨し実力を伸ばすことができるとともに、同じ趣味を持つ地域の人々と交流する機会となります。

内容

- 子どもから高齢者まで、一緒に百人一首を行うサロンです。主につくば市沼崎地区を中心に活動していますが、地域や年齢を問わず、どなたでもご参加いただけます。百人一首の対戦を通して実力を向上するだけでなく、ときには読み手や審判としてほかの参加者の援助をするなど、すべての参加者が主体的に運営にかわり活動しています。

社会資源の活用

- 当サロンは、地域の集会所および交流センターを活動拠点としています。当サロンの開催時間帯は、地域の方がどなたでも出入り可能となっています。
- 助成を受けて広報し、ボランティアを募集することで、百人一首が得意な地域の方々に指導者として参加してもらえることを期待しています。



継続性

- 地区の小学校教諭が指導に加わっています。今後は筑波大学のかかるたクラブに指導協力を要請していきます。子ども、学生、保護者世代そして高齢者と、幅広い世代が参加することで、活動の継続性を目指しています。
- 助成により百人一首(教材)を複数購入することができれば、より多くの参加者を受け入れることができます。



財源の確保

- 年会費300円(1家庭当たり)と、1回の参加費100円(1人当たり)を徴収しています。
- 助成を受けることで年会費、参加費を低額化し、家庭の経済事情にかかわらず子どもたちが参加できるようになります。また飛び込みの参加者の受け入れが可能となります。

PRポイント

- いろいろな目的をもった子ども達が集まっています。(例:百人一首をやりたい、学校がはなれてしまった先生や友人に会いたい、ためしに見学してみたい)

これからサロン活動を予定している方へのメッセージ

- 私達のような小さな団体にも支援していただき本当に有り難く感謝しております。活動をはじめたいと思ったとき、あきらめずに情報を収集し、勇気をもって相談することの大切さを知りました。

★助成金の活用によりパワーアップした活動

- つくば市、近隣からの参加者も多く、会員が倍以上に増えました。そのため、平成30年度は大会を2回にわけて開催する予定です。

先進性

- これまでつくば市内において、子どもが参加できる百人一首の大会が開催されたことはありません。市内初となる子ども中心の百人一首大会を目指しています。
- 助成を受け、沼崎かるた会主催の百人一首大会を開催します。この大会は、全日本かるた協会、茨城県かるた協会を通じて広く参加者を募集します。子どもたちはただ参加するだけでなく、大会開催時のサポートスタッフとともに運営の補助を行う計画です。大会運営に携わるとは子どもたちにとって非常に貴重な体験になると考えています。

独自性

- 当サロンは全日本かるた協会に登録しているため、子どもたちは全国の大会に出場することが可能です。
- 全国大会は東京や関西など遠方で開催されることが多く、金銭面から参加できる子どもは非常に限られています。当サロンが地元で大会を開催することで、家庭の事情に関わらず多くの子どもたちが大会に参加できるようになります。

